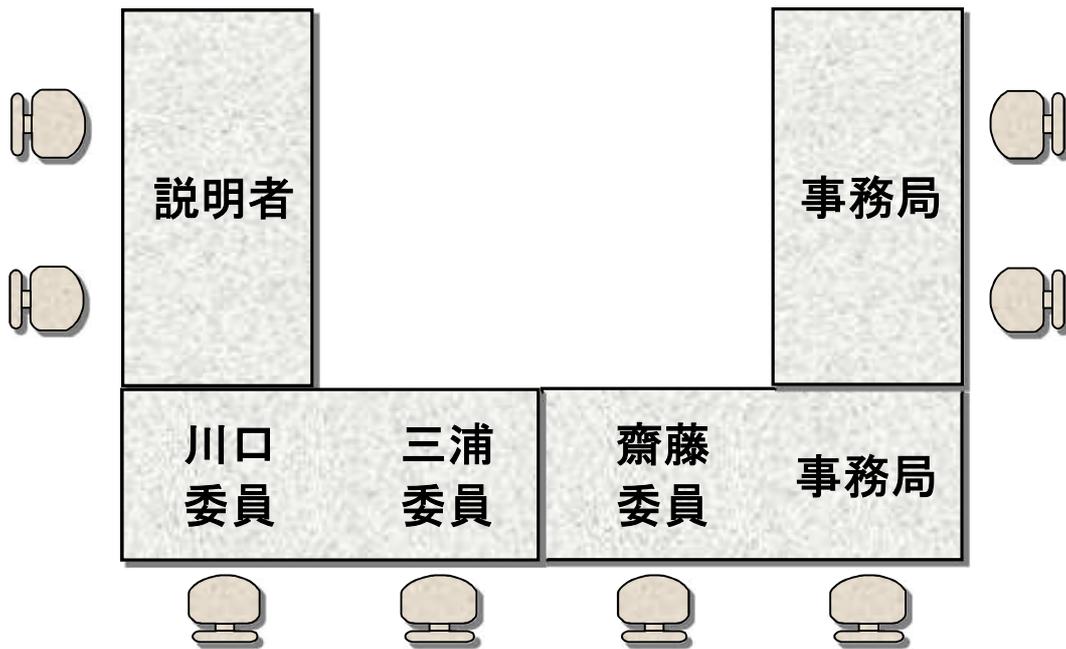


契約・調達管理会議 座席表

14D会議室

※鵜川委員長、
滝口委員、
森谷委員は
オンライン参加

モニター



出入口

区分	その他
----	-----

案 件 概 要

共 通

件名	世界陸上競技選手権大会の開催準備に係る法律相談等支援業務委託（単価契約）（その2）
契約主体	一般財団法人東京2025世界陸上財団
契約方法	特別契約（特命随意契約）
内 容	
<p>【目的】 2025年の世界陸上競技選手権大会の開催に向けて、大会の関係者等と各種調整を行うに当たり、外国法を含む幅広い観点から、法的な解釈、助言、情報提供等の支援を受けること。</p> <p>【予定数量】 法律相談業務：400時間</p> <p>【主な業務内容】 2025年の世界陸上競技選手権大会の開催に向けて、大会の関係者等と各種調整を行うに当たり、法令・条規や国等の通知、国際法規・ルールや国際的な商慣習等を含む幅広い観点から、法的な解釈、助言及び改善案の提示、情報提供、各種文書の確認、並びに発注者と第三者の交渉等への同席による支援等を実施すること。また、委託者における適正かつ効率的な運営に向けた法的支援を行うこと。</p> <p>【契約期間】 契約確定の日の翌日から2024年3月31日まで</p>	

契約方法が競争入札以外の場合の理由	
<p>○本委託は、「世界陸上競技選手権大会の開催準備に係る法律相談等支援業務委託（単価契約）」（以下「過去業務」という。）に引き続くもの。</p> <p>○本委託では、過去業務での検討結果等を踏まえ、大会運営等に係る一連の業務等について、財団へ助言・支援を行うものだが、本業務の履行に当たっては、過去業務の内容との整合性・一貫性を確保することが必要不可欠。</p> <p>○過去業務の受託者は、有益な事例の蓄積があり、財団の立場や大会の関係団体等との交渉の経緯、法的制約、検討過程等を熟知している。</p> <p>○過去業務との整合性・一貫性を確保し、これまでの方針に沿った大会開催準備スケジュールの実現に向けて、本業務を履行するため、過去業務の受託者に対して、特命随意契約を行う。</p>	

契約締結前付議理由

付議基準	
入札・契約手続き等確認結果	

所管部署

総務企画室総務企画部総務課
FA : General Direction

契約・調達案件 個別確認表（契約手続実施前）

案件名	世界陸上競技選手権大会の開催準備に係る法律相談等支援業務委託（単価契約）（その2）
契約方式	特別契約（特命随意契約）

確認の視点	確認内容	備考
契約手続きの適正性		
発注組織での意思決定プロセスの手続きが適正に取られたものであること	<ul style="list-style-type: none"> ●本案件は、一般財団法人東京2025世界陸上財団での意思決定プロセスに沿って、事業執行の決定が行われていることを確認した。 	
大会経費として妥当なものであること	<ul style="list-style-type: none"> ●本案件は、東京2025世界陸上競技選手権大会の準備・運営における法律相談等に係る事業であり、財団の役割に基づく業務内容であることを確認した。 ●運営・準備等に必要項目であり、対象経費として妥当であることを確認した。 	
事業執行にあたり、仕様書の内容が適切なものであること	<ul style="list-style-type: none"> ●業務内容が簡潔、詳細かつ正確に記載されていることを確認した。 ●業務履行上の費用負担が明記されていることを確認した。 	
予算執行が適正なものであること	<ul style="list-style-type: none"> ●大会の準備・運営を進めていくにあたり、適正な予算執行であることを確認した。 	
予定価格が妥当なものであること	<ul style="list-style-type: none"> ●定められた労務単価や市場価格等を参考に、予定価格を適切に算出していることを確認した。 	
契約方式の精査・確認		
契約方式が妥当なものであること	<ul style="list-style-type: none"> ●競争入札によらずその事業者以外には契約の履行ができない等の理由により特定の事業者を指定する方式が妥当であることを確認した。 	

区分	その他
----	-----

案件概要

共 通	
件名	東京2025世界陸上競技選手権大会 ネットワーク構築に係る基本計画策定等業務委託
契約主体	一般財団法人東京2025世界陸上財団
契約方法	競争入札（希望制指名競争入札）
内 容	
<p>○世界陸上大会の運営に関する各種の情報（競技結果、スケジュール、出場選手等）や、放送用の映像・音声等のデータを大会関係者や観客、放送事業者などに提供するためのネットワークの構築（別途、デザインビルド方式を予定）に向けて、必要な要件等の整理を行うための基本計画を策定</p> <p>○主な委託内容は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ネットワーク要件の整理 （機器や設置場所などの検討） ○業務スケジュール作成 ○ネットワークのサービスレベル・非機能要件 ○ネットワーク構成図 ○必要機器の仕様・数量 ○ネットワーク構築・運用・撤去等に係る概算費用の積算 ○設計・構築発注要件の整理 ○業務管理 <p>○契約期間 契約確定日の翌日から令和6年5月31日（金）まで</p>	
契約方法が競争入札以外の場合の理由	
契約締結前付議理由	
付議基準	
入札・契約手続き等確認結果	
所管部署	業務室情報技術部情報技術課 FA : Information Technology

契約・調達案件 個別確認表（契約手続実施前）

案件名	東京2025世界陸上競技選手権大会 ネットワーク構築に係る基本計画策定等業務委託
契約方式	競争入札（希望制指名競争入札）

確認の視点	確認内容	備考
契約手続きの適正性		
発注組織での意思決定プロセスの手続きが適正に取られたものであること	<ul style="list-style-type: none"> ●本案件は、一般財団法人東京2025世界陸上財団での意思決定プロセスに沿って、事業執行の決定が行われていることを確認した。 	
大会経費として妥当なものであること	<ul style="list-style-type: none"> ●本案件は、東京2025世界陸上競技選手権大会の準備・運営におけるネットワーク構築に係る事業であり、財団の役割に基づく業務内容であることを確認した。 ●運営・準備等に必要項目であり、対象経費として妥当であることを確認した。 	
事業執行にあたり、仕様書の内容が適切なものであること	<ul style="list-style-type: none"> ●業務内容が簡潔、詳細かつ正確に記載されていることを確認した。 ●業務履行上の費用負担が明記されていることを確認した。 ●成果品の内容、納品数、納品期限等が具体的に記載されていることを確認した。 	
予算執行が適正なものであること	<ul style="list-style-type: none"> ●大会の準備・運営を進めていくにあたり、適正な予算執行であることを確認した。 	
予定価格が妥当なものであること	<ul style="list-style-type: none"> ●定められた労務単価や市場価格等を参考に、予定価格を適切に算出していることを確認した。 	
契約方式の精査・確認		
契約方式が妥当なものであること	<ul style="list-style-type: none"> ●入札参加希望者を公募したうえで、公表している指名基準に基づき指名し、入札の方法により競争させ、最も有利な価格を提示した者と契約を締結する方式が妥当であることを確認した。 	